



川が「きょう谷」をつくる速さは、どのくらいなの

深くてせまい谷をきょう谷という

きょう谷は、長くて深く、せまい谷で、急なしゃ面にはさまれています。ときには、そのしゃ面が、垂直に切り立っていることもあります。

1本の川でけずられた、みぞのようなきょう谷や、川の支流が本流と合わさっている、きょう谷もあります。

多くのものは数万年かかる

1年に100分の1センチメートルずつ、川底をけずっていくと、100年で1センチメートル、1000年でも10センチメートルです。

きょう谷の中には、数千年ぐらいで現在のようないかに、できたものもありますが、ほとんどのきょう谷は、形ができ上がるまでに、数万年もの年月がかかっています。

きょう谷によってちがう

川がきょう谷をつくる速さのちがいは、流れの速さ、水の量、運ばれてくる岩石の量などによってちがいます。運ばれてくる岩石の量が多いほど、川をけずるはたらきが大きくなります。

また、きょう谷をつくっている、岩石のかたさのちがいにもよります。「けつ岩」の上を流れる川は、「かこう岩」の上を流れる川よりも、よく岩石をけずります。それは、かこう岩よりもけつ岩のほうが、やわらかく、はがれやすいためです。（監修・国司 真）

